

木曾町中学校 防災講演 ～防災一人語り～「グスコブドリの伝記」

平成 28 年 11 月 15 日（火）

<生徒の感想>

今日の講師は三咲順子さんで、プロのピアニストだそうです。その他にも女優という仕事もしているそうです。お話の内容は災害についてで、宮澤賢治さんの『グスコブドリの伝記』という作品の弾き語りをしていただきました。ピアノの迫力もありましたが、災害の怖さも改めて実感しました。“これから、僕たちに何が出来るか”を考えていかなくてはいけないと思うきっかけになりました。（3年生）

『災害は、忘れた頃にやってくる』と言いますが、実際に木曾でも御嶽山の噴火や地震などの災害が突然やっています。今日の三咲順子さんの『グスコブドリの伝記』の読み聞かせをお聴きしながら、「今、この瞬間に地震や噴火が起こったら…、自分は何をすればいいんだろう」と考えていました。『備えあれば、憂い無し』とも言います。そういう備えをなさいよ、というお話しなんだろうなあと感じました。（3年生）

私は講演を聴いて、改めて災害は怖いと思いました。そして、ピアノを弾きながらやっていたので、その場面の臨場感がよく伝わってきました。私は、『グスコブドリの伝記』を初めて知ったので、本を読むことがあったら今日の講演を思い出しながら読もうと思いました。きれいな声でお話をしてくださったり、歌を歌ってくださったりしてありがとうございました。（1年生）

身近なところでいろいろな災害が起こっていて、いつ木曾に大きな災害が来るかわからないけれど、災害が起きた時のために家でどのようにするかなどを、家族と話しておきたいと思いました。（1年生）

今日は、講演会がありました。講演会は、引き語りだったので「寝てしまうかも…」と思ったのですが、寝られないほど読み方が上手で驚きました。声の強弱とピアノの大きな音で話しに引き込まれていく感じでした。聞いていて面白かったので、他の話も聞いてみたいと思いました。（1年生）

